

第57回  
東北社会学会大会プログラム

第一日目：2010年7月24日（土）

第二日目：2010年7月25日（日）

24日（土）	12:15- 12:20-13:00 13:00- 13:10-17:00 17:00-18:00 18:00-20:00	受付 理事会 開会の辞 課題報告 学会総会 懇親会	人文社会科学系講義棟入口 B120 B331 " " 第一学生食堂
25日（日）	10:00-12:00 13:00-15:00 15:00-	自由報告Ⅰ 自由報告Ⅱ 閉会の辞	B124,122,121 B124,122,121 B124

会員控え室：B123

大会事務局：B120

大会参加費 一般・院生：1000円

懇親会会費 一般：5000円

院生・学生：4000円

主催 東北社会学会

担当校 新潟大学

会場 新潟大学五十嵐キャンパス

## 第一日目

**開会の辞** 18:00- . . . . . B331、会長 久慈利武

**課題報告** 18:10-17:00 . . . . . B331

- 地域社会の再生をめざして** (司会 東北大学 吉原直樹、コーディネーター 岩手県立大学 阿部晃士)
1. 縮小する地方社会の地域再生  
——佐渡市片野尾地区の事例——  
新潟大学 佐藤康行
  2. 釜石市と「ローカル・アイデンティティの再構築」  
東京大学 大堀 研
  3. 迫られる経営改革と地域住民組織の変容  
——北海道夕張郡長沼町JN区の事例——  
北海道大学 松岡昌則
- コメンテーター 社会調査協会 細谷 昂  
東北学院大学 佐久間政広

**学会総会** 17:00-18:00 . . . . . B331

**懇親会** 18:00-20:00 . . . . . 第一学生食堂

## 第二日目

**自由報告 I** 10:00-12:00

- A部会 変容する地域社会** (司会 東北大学 永井彰) . . . . . B124
1. 商業町における祭りの変遷  
——祭りの背後にある生業と生活に着目して——  
東北大学 深澤あかね
  2. CSA (Community Supported Agriculture) と提携 (Teikei)  
東北大学 中川 恵
  3. 人的支援をうづじた地域再生の可能性と課題  
島根県中山間地域 藤本穰彦  
研究センター
- B部会 社会変動と社会関係** (司会 東北大学 木村邦博) . . . . . B122
1. デューイにおけるトランズアクション概念の方法論的意義  
東北大学 何 淑珍
  2. スチュアート・ホルのサッチャリズム論  
——新自由主義と上部構造の自律性——  
東北大学 牛渡 亮
  3. 若年者の就業環境を規定する社会ネットワークの効果  
東北大学 石田賢示
  4. 均等法世代の男女格差  
東北学院大学 片瀬一男

<b>C部会 グローバル化と文化</b> (司会 専修大学 永野由紀子) . . . . .		B121
1. グローバル化時代における日本の留学生政策と現状	東北大学 東北大学	土田久美子 竹中 歩
2. 日本人女性の国際結婚における新たな展開 ——バリ島における日本人女性とインドネシア人男性の事例から——	東北大学	ニ・ヌンガー・ スアルティニ
3. インドネシア Industrial Estates における都市的機能の考察	東北大学	大井慈郎

**自由報告Ⅱ 13:00-15:00**

<b>D部会 運動とボランティア</b> (司会 山形大学 山本英弘) . . . . .		B124
1. 学生運動の形成過程と要因 ——Free Speech Movement の分析をもとに——	東北大学	小杉亮子
2. 学習意欲の伝達におけるボランティアのストラテジー ——外国人児童に対する教育支援活動を事例にして——	東北大学	坪田光平
3. 新しい社会運動としてのボランティア行爲 ——日本の病院ボランティアは新たなしくみを創りあげているのか?——	北海道大学	竹中 健

<b>E部会 都市のアイデンティティ</b> (司会 岩手県立大学 吉野英岐) . . . . .		B122
1. 創造都市論の可能性と課題 ——理論的言説と実践の包括的な整理をふまえて——	東北大学	笹島秀晃
2. 「郷土」の創生とその可能性 ——漆器産地の調査をふまえて——	宮城学院女子大学	高橋英博
3. 運動からまちづくりへの連続と断絶 ——仙台市 A 地区旧町名改正反対運動は何を残したのか?——	鹿児島大学	菱山宏輔

<b>F部会 障がい・医療</b> (司会 東洋大学 原山哲) . . . . .		B121
1. 「障害の社会モデル」の諸類型	東北大学	安田理人
2. 意思伝達装置における専門的な支援と非制度的な支援 ——「意思伝達装置ガイドライン検討委員会・利用者調査」の分析から——	大妻女子大学 中部学院大学	柴田邦臣 井村 保
3. 「良心的支持者」概念の「転用」可能性 ——誰が良心的支持者になれる/なるのか?——	和歌山県立 医科大学	本郷正武

**閉会の辞 15:00-** . . . . . B124、新潟大学 佐藤康行